

作業療法だより(4)

平成19年5月

今回で4回目となる当院で使用している福祉用具の紹介をさせていただきます。2月号に食事関連、3月号では爪切りと靴下履き、4月には調理関連(包丁とまな板)、そして今回は、ペットボトルやコーヒー瓶などのボトルオープナーと入浴時の洗体(背中)ブラシを紹介します。

1. ボトルオープナー

当リハビリテーションセンターにおいて、利用者様の訓練で使用しているのが下のボトルオープナーCタイプです。



この福祉用具は、脳卒中や腕・指の骨折などで両腕での仕事が困難なために、ペットボトルやコーヒーの瓶などが開封しにくい方が、このボトルオープナーを使用することで、一人で開けられることが出来るようになります。



<使用方法>

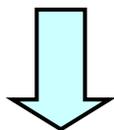
まず瓶をボトルオープナーのマット上に置いて固定して、上から傘部分で蓋を被せます。そして上から腕で押さえ込み、矢印の左方向へ回したり、逆に閉める時には右方向に回すことで、容易に開封することができます。またマット上で固定しているので、瓶が倒れて中身をこぼすこともありません。

2. 洗体(背中)ブラシ

続いて当リハビリテーションセンターを利用されている患者様が自宅や院内で入浴された際、背中が洗いにくい方に薦めている洗体ブラシを紹介します。



左図のように右腕(もしくは左腕)でブラシを持ち、背中に当てます。



そして手首を矢印のように小指側に動かしたり、親指側に動かすことによって、U字になっているアームを操作して、背中を患者様個人で洗うことができます。

当作業療法では、以上のような福祉用具を患者様に提供し、より良い日常生活や生活関連動作を送れるように、患者様と一緒に考えていきたいと思っています。